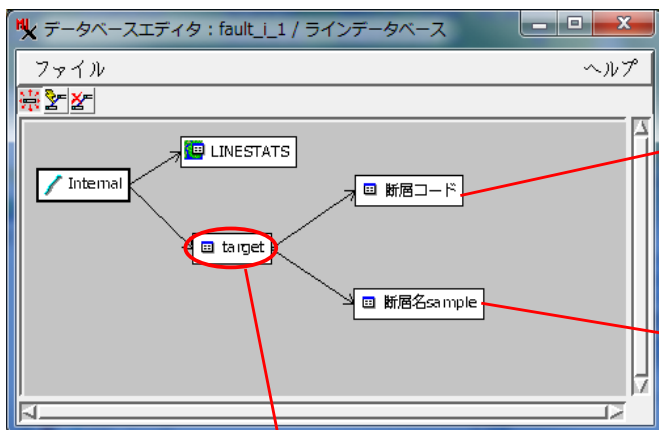


# 値一覧の設定

## 設定の概要

▼値一覧設定後のテーブル間のリレーション。

「target」テーブルが値一覧を利用する側のテーブルです。「断層コード」・「断層名sample」テーブルは、値を提供します。



主キーを持つテーブル。  
[凡例]フィールドの値一覧データを提供します。

主キーを持つテーブル。  
[断層名]フィールドの値一覧データを提供します。

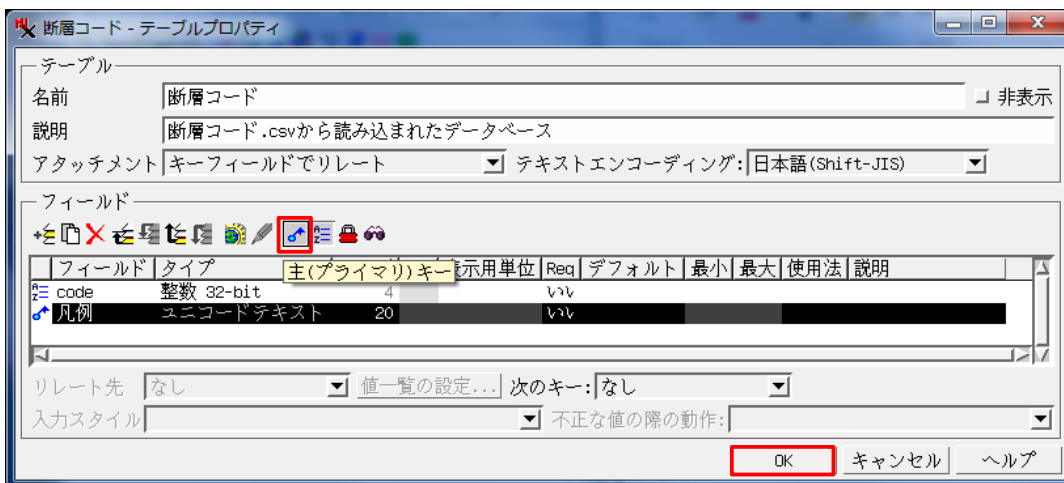
要素に直接結びつくテーブルです。  
このテーブル内の2つのフィールド「凡例」・「断層名」に値一覧を設定します。

## 設定手順

### 1. 【値一覧の値を提供するフィールドの設定】

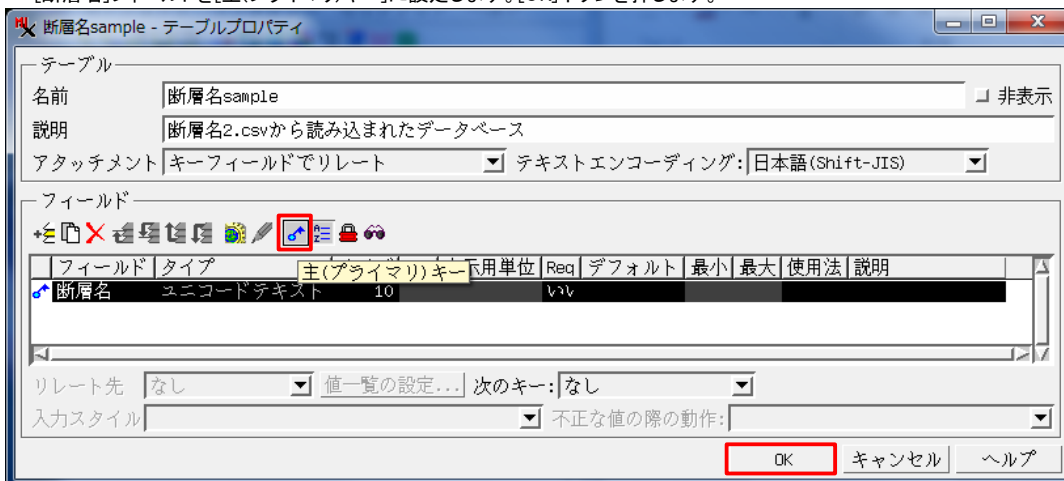
▼「断層コード」テーブルの〈テーブルプロパティ〉ウィンドウを開きます。

[凡例]フィールドを選んで[主(プライマリ)キー]アイコンを押し、主キーに設定します。[OK]ボタンを押します。



▼「断層名sample」テーブルの〈テーブルプロパティ〉ウィンドウを開きます。

[断層名]フィールドを[主(プライマリ)キー]に設定します。[OK]ボタンを押します。



## 2. 【targetテーブルの作成】

▼値一覧を利用する新規テーブルを作ります。  
ライン要素の右ボタンメニューから[新規テーブル]を選びます。

【テーブルの新規作成ウィザード】

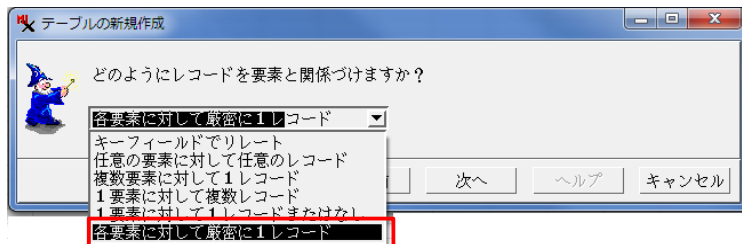
「ユーザ定義」を選択

↓ 次へ

名前:「target」と入力

↓ 次へ

下のウィンドウで「各要素に対して厳密に1レコード」を選択

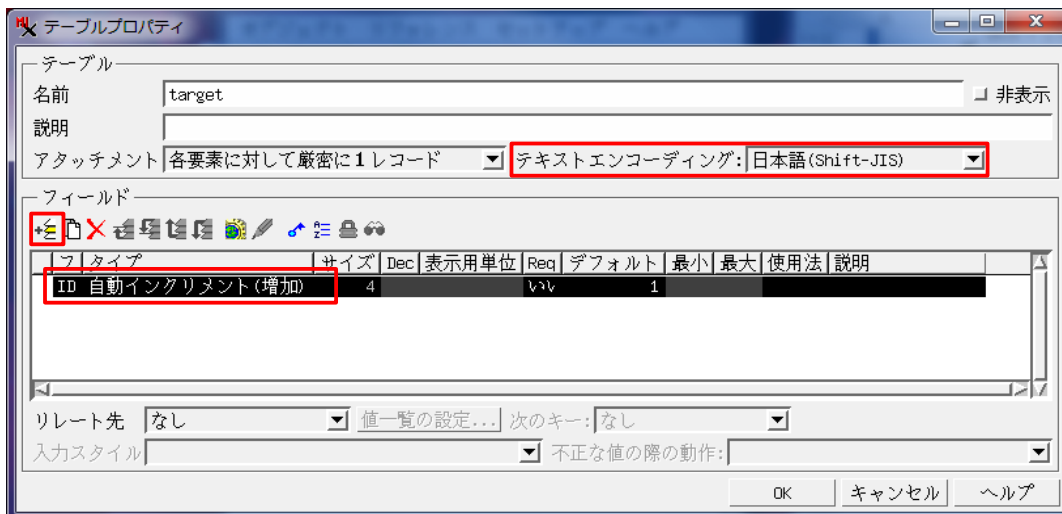


↓ 次へ

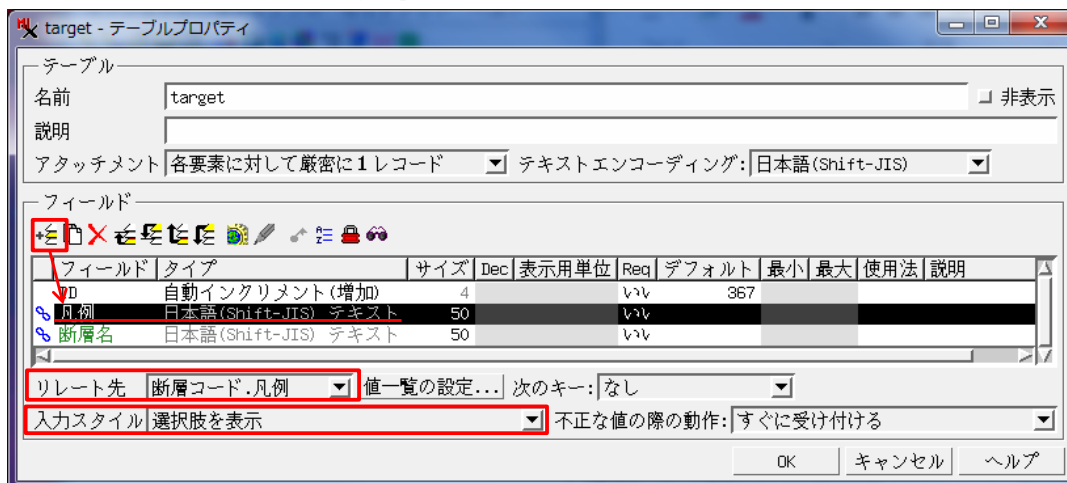
テーブルが作成されました

↓ 次へ

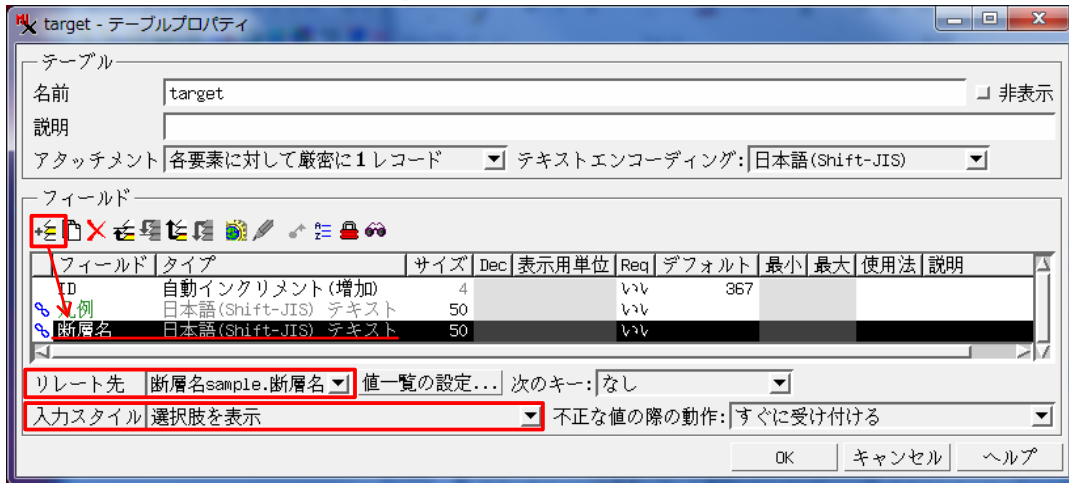
▼<テーブルプロパティ>ウィンドウで[テキストエンコーディング]を「日本語(Shift-JIS)」にします。  
[フィールドの追加]アイコンを押して「自動インクリメント(増加)」を選び、フィールドを作ります。  
フィールド名に「ID」と入力します。



▼[フィールドの追加]アイコンを押して「日本語(Shift-JIS)テキスト」を選び、フィールドを作ります。  
フィールド名に「凡例」と入力します。  
[凡例]フィールドをクリックし、「リレート先」メニューから「断層コード.凡例」を選びます。  
[入カスタイル]メニューから「選択肢を表示」メニューを選択します。



▼さらに、[フィールドの追加]アイコンを押して「日本語(Shift-JIS)テキスト」を選び、もう一つフィールドを作ります。フィールド名に「断層名」と入力します。  
[断層名]フィールドをクリックし、「リレート先」メニューから「断層名sample.断層名」を選びます。  
[入力スタイル]メニューから「選択肢を表示」メニューを選択します。

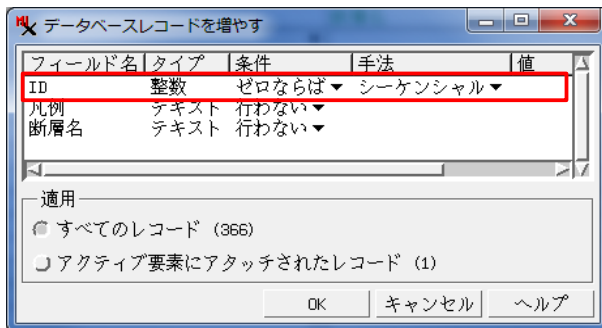


[OK]を押してテーブルプロパティを閉じます。

### 3. 【targetテーブルに値を入れる】

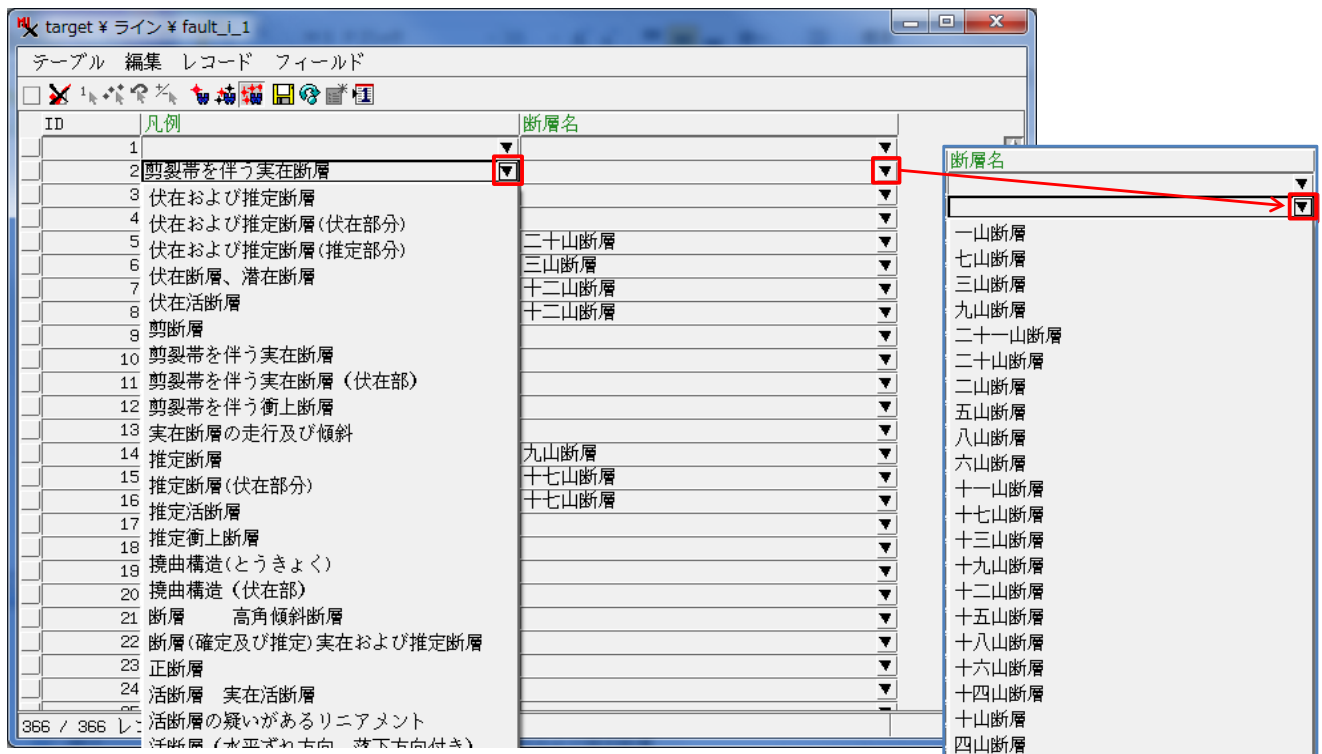
作成したtargetテーブルを開きます。

▼IDフィールドに昇順の整数を入れます。テーブルの[レコード]メニューから[既存レコードにデータを入れる]を選びます。下記のウィンドウが開きます。[条件]を“ゼロならば”、[手法]を“シーケンシャル”にします。



[OK]を押すと、「ID」フィールドに値が入ります。

▼「凡例」フィールドと「断層名」フィールドに表示された▼をクリックして、任意の値を選択します。



▼[凡例]フィールドと[断層名]フィールドに値が入りました。

auto increment  
フィールド

値一覧を設定したフィールド  
“断層コード.凡例”フィールドの値を使用

値一覧を設定したフィールド  
“断層名sample.断層名”フィールドの値を使用

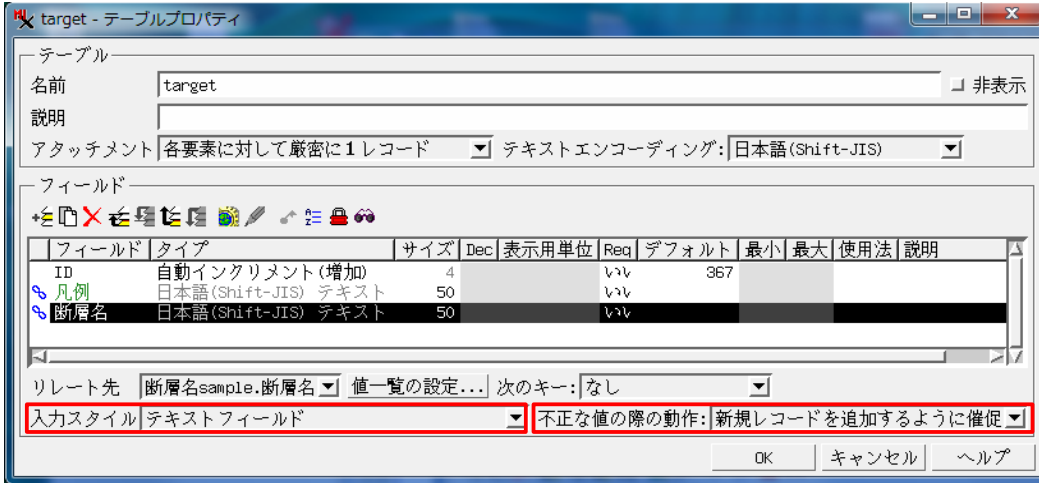
The screenshot shows a database table editor window titled 'target \* ライン \* 新規ペクタ (4)'. The table has two columns: 'ID' and '断層名'. The 'ID' column contains numbers from 1 to 16. The '断層名' column contains various fault types, some with dropdown arrows. The status bar at the bottom indicates '366 / 366 レコードが表示されています。'.

ID	断層名
1	伏在活断層
2	剪裂帯を伴う実在断層
3	伏在および推定断層
4	伏在断層、潜在断層
5	断層 高角傾斜断層
6	伏在および推定断層
7	断層 高角傾斜断層
8	断層 高角傾斜断層
9	剪断層
10	推定断層(伏在部分)
11	活断層(水平ずれ方向、落下方向付き)
12	衝上断層
13	剪裂帯を伴う実在断層(伏在部)
14	活断層(水平ずれ方向、落下方向付き)
15	伏在および推定断層(推定部分)
16	伏在および推定断層(推定部分)

## 値一覧に無いレコードの追加

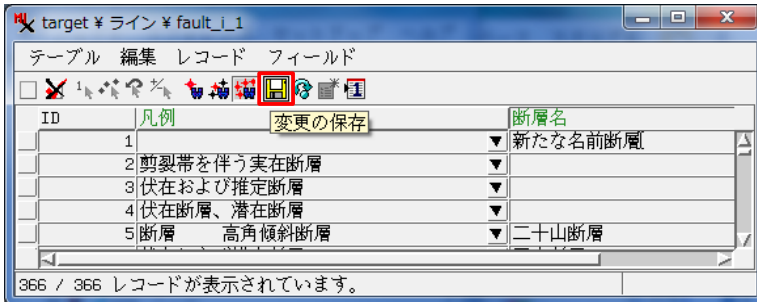
値一覧に存在しない値を入力したい場合、以下のように設定します。

▼<テーブルプロパティ>を開き、[断層名]フィールドを選んで、[入カスタイル]メニューから「テキストフィールド」を選びます。  
[不正な値の際の動作]メニューから、「新規レコードを追加するように催促」を選びます。

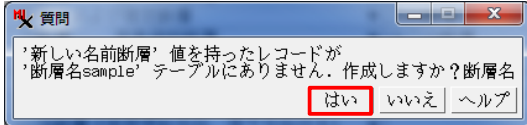


[OK]を押してテーブルプロパティを閉じます。

▼targetテーブルを開き、断層名フィールドに、新規の値を入力します。[変更の保存]アイコンを押します。



▼<質問>ウィンドウが出ます。[はい]を選択します。



▼値一覧の参照テーブルが単一レコード表示されます。再度新規の値を入力します。[保存]アイコンを押します。

